

平成31年度社会福祉法人よるべ会 事業計画の概要

【1】平成31年度 主な計画

平成30年4月、改正障害者総合支援法が施行され、新たなサービス提供や障害福祉サービス等報酬改定が実施され、成果主義の考え方が取り入れられる等、取り巻く環境が大きく変化した。

平成31年度は4月からの働き方改革と称して労働基準法の一部改正、5月の改元、10月に予定される消費税率の引き上げと軽減税率の導入等、大きな変化が想定されている。

様々な社会の変化を踏まえ、“これからのよるべ会づくり”を基本に置き、施設・事業所の一層の充実を図り、※4月より新たにスタートする児童発達支援事業「どーむ」、6月開設予定の二宮町でのグループホーム増設等、更に進んでの役割を担い、以下を主な計画として、ISO品質活動と重ねて取り組んでゆく。

①（継続）権利擁護の確立

- ◆研修・学習により、しっかり身につける
- ◆様々な利用者の障害の状況・課題の理解と合理的配慮につなぐ支援場面での職員としての姿勢・言動の確立

②（継続）人材確保・育成への取り組み

- ◆支援力の向上・職員間の連携連動を図り、有効な相互理解・協力・チームづくり
- ◆初任職員の育成体制（初任者研修・チューター制度等）
- ◆これからの担うリーダー養成（階層別研修等）

③（新）業務の検証と改善

- ◆大切にしていること、改善しなければならないことを正しく見極め、検証・整理・工夫改善を行う。
- ◆法人への書面開示義務（事業計画・上半期報告・事業報告・予算・決算等）に合わせ、見やすく解りやすい書面づくりを整理・検討を行い、様式の統一化を図る。

④（継続）管理体制の強化

- ◆“これからのよるべ会”づくりに向け、更なる検討・実施

⑤職員労務管理の改善

- ◆働き方改革の理解・改善を図る。
- ◆職員処遇の改善（限定常勤職員給与改善の実施）

⑥地域社会との連携

◆地域自治会組織や社協等の活動への参加、交流を図り、連携した活動を通して、求められる役割づくりにつなぐ。

【2】事業

- (1) 障害者支援施設・障害福祉サービス事業所「よるべ沼代」の設置経営
- (2) 障害福祉サービス事業所「コスタ・二宮」の設置経営
- (3) 障害福祉サービス事業所「梅香園」の設置経営
- (4) 福祉型障害児入所施設「わらべの杜」の設置経営
- (5) 障害者就業・生活支援センター事業等「障害者支援センターぽけっと」の実施・運営
- (6) 共同生活援助事業「かめりあホーム」「かめりあホームⅡ」「ナスカの家」「一色ハウス」「湘南ビレッジ」「エピナールホーム」「ポラリスホーム」「あずさの家」「ポプラの家」「わたくも」の設置経営
- (7) 障害者短期入所事業の実施「よるべ沼代」「わらべの杜」「あずさの家」
- (8) 地域生活支援事業・日中一時支援事業「よるべ沼代」「コスタ・二宮」「梅香園」
- (9) 相談支援事業「障害者支援センターぽけっと」「よるべ沼代」「梅香園」「コスタ・二宮」「わらべの杜」
- (10) 児童発達支援事業「どーむ」

【3】役員会の開催

(1) 定例役員会開催

◆理事会開催予定

平成31年6月7日（金） 平成31年6月21日（金）

平成31年10月18日（金） 平成32年 3月13日（金）

◆評議員会開催予定

平成31年 6月21日（金） 平成31年10月25日（金） 平成32年 3月27日（金）

(2) 必要に応じての役員会の開催

【4】監事監査の実施

【5】債務の返済

	社会福祉医療機構	神奈川県 社会福祉協議会	合 計
30年度末借入金残高	201,636,000	58,455,000	260,091,000
31年度償還金元金予定額	15,804,000	5,177,000	20,981,000
31年度償還金利子予定額	2,378,028	160,923	2,538,951

【6】家族会と連携充実を図り、各種行事において共同で行う

【7】職員の確保と資質向上を図る研修を行う

【8】職員の学習及び障害者福祉の理解の広がり、地域社会との連携と拡充を図るため「よるべセミナー」を行う

【9】よるべ会の活動状況の情報提供として「瓦版よるべ」の発行

【10】各施設・事業所の防災対策の充実

【11】ISO内部監査（6月・11月）